

「さなざまな地すべりや崩壊」をテーマとした、平成25年度西宮市防災講演会が開催されました。

六甲砂防事務所では土石流実験装置を使い、六甲山地での土砂災害と、現在の砂防事業について説明しました。

概要

日時：平成25年6月8日（土）

10:00～12:15

場所：山口ホール（西宮市）

参加人数：約160名

主催：西宮市



○土石流実験装置で、砂防えん堤について説明

メインとなる講演の前後の時間に、六甲山地の土砂災害の危険性と砂防事業について参加者のみなさんに知っていただくために、土石流実験を行いました。

砂防えん堤が「ない場合」では、土石流によって過去に起こった災害と同じように家屋などが押し流される様子、砂防えん堤が「ある場合」では、砂防えん堤によって土石流を防ぎ、下流の街に被害がない様子を見ていただきました。また、砂防えん堤には重力式や鋼製のものなど、地形・地質に合わせた様々なタイプの砂防えん堤を整備していることも紹介しました。



参加された方からは、「土砂がたまって、砂防えん堤に効果があるとは知らなかった。」という声も聞かれ、砂防事業について知識を深めていただけたようでした。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

